

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 ヒューマンホールディングス株式会社
 コード番号 2415 URL <http://www.athuman.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合企画担当
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 佐藤 朋也
 (氏名) 川下 裕左

TEL 03-6846-8002

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	12,962	6.0	604	43.6	619	37.3	390	13.9
24年3月期第1四半期	12,231	△6.3	420	△35.8	451	△31.9	342	28.3

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 396百万円 (13.1%) 24年3月期第1四半期 350百万円 (29.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	3,587.77	—
24年3月期第1四半期	3,149.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	21,908	4,904	22.4
24年3月期	22,895	4,619	20.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 4,903百万円 24年3月期 4,618百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	1,020.00	1,020.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	1,333.00	1,333.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,275	10.9	1,275	29.5	1,285	12.6	725	30.7	6,665.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 有
- ④ 修正再表示 ： 無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	109,872 株	24年3月期	109,872 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,089 株	24年3月期	1,089 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	108,783 株	24年3月期1Q	108,783 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続を終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 決算補足説明資料は平成24年8月10日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景として、雇用情勢や個人消費に明るい兆しが見られ、ゆるやかに持ち直す傾向で推移いたしました。しかしながら、円高の長期化や電力供給の制約など、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境は、人材関連業界におきましては、復興関連の求人需要に下支えされ、有効求人倍率はゆるやかな上昇を続け、人材派遣事業が回復傾向で推移いたしました。教育業界におきましては、少子化の影響によりマーケットは縮小傾向にあります。介護業界におきましては、高齢化の進行により引き続きマーケットは拡大しておりますが、介護保険法改正への対応に向けて、人材の確保と育成が必要になっております。

このような状況において、当社グループは人材関連事業の再構築と教育事業の構造転換に重点的に取り組み、介護事業の新規開設を推進いたしました。

以上の結果といたしまして、当第1四半期連結累計期間における売上高は、主に人材関連事業と介護事業の増加により前年同四半期比6.0%増の12,962百万円となりました。利益面では、営業利益は前年同四半期比43.6%増の604百万円、経常利益は前年同四半期比37.3%増の619百万円、四半期純利益については前年同四半期比13.9%増の390百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 人材関連事業

人材関連事業におきましては、人材派遣契約における長期契約の割合を高めたことにより、人材派遣事業の収益が向上いたしました。特定派遣分野では、技術者の稼働人数が増えたこと、人材紹介事業におきましては、ミドルマネジメント層の求人案件に重点的に取り組んだことにより売上は増加いたしました。

この結果、人材関連事業の売上高は前年同四半期比7.9%増の7,190百万円、営業利益は前年同四半期比1,545.4%増の206百万円となりました。

② 教育事業

社会人教育事業では、自治体からの職業訓練受託が減少いたしました。通信講座の販売が好調に推移いたしました。また、就職に直結した講座販売が増えたことにより、通学講座の受講生は増加いたしました。

全日制教育事業では、総合学園ヒューマンアカデミーの本科部門在校生が増加いたしました。

この結果、教育事業の売上高は前年同四半期比2.3%増の3,912百万円、営業利益は前年同四半期比7.3%増の360百万円となりました。

③ 介護事業

介護事業におきましては、順調に利用者数が増加いたしました。また、デイサービスセンターにおける定員に対する充足率の向上に努めました。

事業所につきましてはデイサービスセンターとして永山の湯（東京都）、栄の湯（埼玉県）、星川（神奈川県）、高針の湯（愛知県）、ひしきの湯・大蓮の湯・岸和田の湯（大阪府）の7ヵ所を新規開設し、フランチャイズ展開も2ヵ所の加盟店を新規開設いたしました。

この結果、介護事業の売上高は前年同四半期比10.0%増の1,514百万円、営業利益は新規開設による費用が増えたことにより、前年同四半期比83.9%減の9百万円となりました。

④ フランチャイズ事業

フランチャイズ事業におきましては、国内事業のロボット・理科実験教室の加盟校が増えたことにより、受講生数が順調に増加いたしました。しかしながら、海外事業の韓国における幼児・小学生向けの英会話教室は、教育費抑制を目的とした法改正、少子化の影響により、受講生が減少いたしました。

この結果、フランチャイズ事業の売上高は前年同四半期比12.7%減の81百万円、営業損失は20百万円（前年同四半期は9百万円の営業損失）となりました。

⑤ その他

ネイルサロン運営事業におきましては、東京スカイツリータウン・ソラマチ店（東京都）を新規開店し、フランチャイズ店も2ヵ所新規開店し、売上は順調に増加いたしました。

プロバスケットボールチーム「大阪エヴェッサ」の運営におきましては、チケット売上は増加し、スポンサー収入も増加いたしました。

なお、その他の事業として取り組んでいた新分野の業務受託案件は終了いたしました。

この結果、その他の事業売上高は前年同四半期比2.4%減の264百万円、営業利益は19百万円（前年同四半期は31百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、21,908百万円となり、前連結会計年度末の22,895百万円から987百万円減少いたしました。

流動資産につきましては、16,721百万円となり、前連結会計年度末の17,765百万円から1,044百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が547百万円、売掛金が484百万円減少したことによるものです。また、固定資産につきましては、5,187百万円となり、前連結会計年度末の5,130百万円から57百万円増加いたしました。これは主に、介護事業所の新規開設等への設備投資によるものです。

次に、負債合計は、17,003百万円となり、前連結会計年度末の18,276百万円から1,272百万円減少いたしました。

流動負債につきましては、14,698百万円となり、前連結会計年度末の16,138百万円から1,439百万円減少いたしました。これは主に、未払金が177百万円増加したものの、前受金が1,435百万円、短期借入金が238百万円減少したことによるものです。また、固定負債につきましては、2,305百万円となり、前連結会計年度末の2,138百万円から167百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が146百万円増加したことによるものです。

純資産につきましては、4,904百万円となり、前連結会計年度末の4,619百万円から285百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が279百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における売上高は、おおむね計画通り推移いたしました。

利益面につきましては、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに計画を上回りました。

今後の事業展開においても、引き続きグループ一丸となって収益の拡大に努めてまいります。外部環境が依然不透明であり人材関連事業へ影響を及ぼすことや、フランチャイズ事業において計画から遅れがみられることなどの懸念材料があります。

このような状況を勘案した結果、現時点では、平成24年5月15日に発表いたしました「平成24年3月期決算短信」の連結業績予想から修正を行っておりません。尚、通期の連結業績予想につきましては、現在精査中であり、業績予想の修正が必要と判断した場合は速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,628,098	11,080,594
売掛金	5,305,931	4,821,687
商品	226,085	251,141
貯蔵品	26,597	30,164
その他	583,770	541,973
貸倒引当金	△4,793	△4,454
流動資産合計	17,765,690	16,721,106
固定資産		
有形固定資産	2,592,407	2,626,070
無形固定資産	285,537	280,475
投資その他の資産		
差入保証金	1,556,194	1,563,526
その他	718,590	740,637
貸倒引当金	△22,487	△23,321
投資その他の資産合計	2,252,297	2,280,842
固定資産合計	5,130,242	5,187,388
資産合計	22,895,933	21,908,495
負債の部		
流動負債		
買掛金	130,481	242,969
短期借入金	508,047	269,919
1年内返済予定の長期借入金	1,532,460	1,426,570
前受金	8,310,031	6,874,406
未払金	3,868,314	4,046,263
未払法人税等	168,496	135,617
賞与引当金	310,777	260,158
その他	1,309,711	1,442,586
流動負債合計	16,138,320	14,698,491
固定負債		
長期借入金	1,608,300	1,755,150
役員退職慰労引当金	307,060	313,790
資産除去債務	102,730	109,136
その他	120,054	127,308
固定負債合計	2,138,145	2,305,386
負債合計	18,276,465	17,003,877

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,299,900	1,299,900
資本剰余金	809,900	809,900
利益剰余金	2,567,727	2,847,057
自己株式	△66,291	△66,291
株主資本合計	4,611,235	4,890,565
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,854	△9,078
為替換算調整勘定	19,321	22,365
その他の包括利益累計額合計	7,466	13,287
少数株主持分	764	764
純資産合計	4,619,467	4,904,617
負債純資産合計	22,895,933	21,908,495

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	12,231,473	12,962,338
売上原価	8,627,866	9,148,333
売上総利益	3,603,606	3,814,004
販売費及び一般管理費	3,182,906	3,209,683
営業利益	420,700	604,321
営業外収益		
受取利息	510	261
受取配当金	90	90
金銭の信託運用益	4,695	—
補助金収入	26,787	9,728
その他	32,287	20,388
営業外収益合計	64,371	30,468
営業外費用		
支払利息	12,258	8,450
投資有価証券評価損	17,550	4,847
その他	4,134	1,997
営業外費用合計	33,943	15,295
経常利益	451,128	619,494
特別損失		
固定資産除却損	—	520
固定資産売却損	251	—
投資有価証券評価損	1,621	—
特別損失合計	1,873	520
税金等調整前四半期純利益	449,254	618,974
法人税等	106,706	228,685
少数株主損益調整前四半期純利益	342,548	390,288
少数株主損失(△)	△12	△0
四半期純利益	342,560	390,288

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	342,548	390,288
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△787	2,776
為替換算調整勘定	8,406	3,043
その他の包括利益合計	7,619	5,820
四半期包括利益	350,167	396,109
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	350,180	396,109
少数株主に係る四半期包括利益	△12	△0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他(注)	合計
	人材関連事業	教育事業	介護事業	フランチャイズ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,666,385	3,824,472	1,376,813	93,239	11,960,911	270,561	12,231,473
セグメント間の 内部売上高又は振替高	12,516	55,992	147	1,176	69,833	45,089	114,922
計	6,678,902	3,880,465	1,376,960	94,415	12,030,744	315,650	12,346,395
セグメント利益又は損失(△)	12,527	336,427	61,019	△9,890	400,084	△31,264	368,819

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ネイルサロン運営事業、スポーツエンターテインメント事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	400,084
「その他」の区分の利益	△31,264
セグメント間取引消去	478
各セグメントに配分していない全社損益(注)	51,402
四半期連結損益計算書の営業利益	420,700

(注) 主として持ち株会社(連結財務諸表提出会社)に係る損益であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他(注)	合計
	人材関連事業	教育事業	介護事業	フランチャイズ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,190,119	3,912,217	1,514,501	81,368	12,698,206	264,132	12,962,338
セグメント間の 内部売上高又は振替高	10,304	42,582	494	273	53,654	66,050	119,704
計	7,200,423	3,954,799	1,514,995	81,642	12,751,861	330,182	13,082,043
セグメント利益又は損失(△)	206,130	360,961	9,802	△20,503	556,391	19,954	576,345

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ネイルサロン運営事業、スポーツエンターテインメント事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	556,391
「その他」の区分の利益	19,954
セグメント間取引消去	596
各セグメントに配分していない全社損益（注）	27,379
四半期連結損益計算書の営業利益	604,321

（注）主として持ち株会社（連結財務諸表提出会社）に係る損益であります。